

## 2024 年度人文学部 FD 活動方針・計画 (キリスト教学科, 人類文化学科, 心理人間学科, 日本文化学科)

FD 活動に関して, 学部全体としては, 各学科の時間割担当教員, 学部教務委員, 学部 FD 委員からなる人文学部カリキュラム委員会において検討等を進めていく。2024 年度も引き続き, 学生と教職員が持つ多様な特徴やバックグラウンドへの理解の促進, そして配慮や支援を超え, 多様性が個性として尊重され, 活かされる教育・研究環境の構築を目指し, 学内の各課室や多職種との連携を通じた学生支援, 教育指導のありかた等について, 具体的な方策を試みていく。

また各学科では, 以下のような方針, 計画の実行を予定している。

キリスト教学科では 4 月に新入生オリエンテーション合宿と新入生歓迎コンパを開催する予定。学科の教員を紹介し, 学科の特徴や魅力, 勉強内容, 学生生活へのアドバイスなどを教員と学生スタッフが新入生に語り, 交流することで新入生が充実した大学生活を始められるようにすると共に, 学生指導にも役立つ。また 2025 年 2 月に「研究プロジェクト発表会」, 「卒業生歓送会」, 「次年度ゼミ説明会」を開催し, 教員と学科学生との間の質疑応答, 交流, 親睦の機会を設けて学生指導に役立つ予定。また年度末には学科 FD 懇談会を開く予定である。

人類文化学科では, 以下のような活動を予定している。①2023 年度から課題として新たに設定し「内部質保証委員会」からも一定の評価をされた(「1 年次から自身の関心を探って深めていくことは重要であるので, …ゼミ紹介を1 年次から実施することは意義深い」「コロナ禍において学生間のコミュニケーションが減少したことで, これまでは演習に関して学生がある程度共有してきた認識が薄れてしまった可能性があるため, 当学科が行ったような取組は重要であるかもしれない)」「1 年生からゼミ選択をサポートする体制作り」を発展させる方策の検討。②「学科アンケート」の「総数」を増やす方策の検討。③学科 DP 再整備と学科科目の関連についての検討。活動計画としては, 学科会議と年度末に開催予定の学科 FD で行う予定である。

心理人間学科は, ①多様な機会をとらえて学生, 授業の情報を共有すること, ②新入生および卒業生を対象とした学科教育にかかる調査活動を行うこと, ③学科ディプロマ・ポリシーと学科科目との関連に関する検討を行うこと, ④研究プロジェクトの指導体制について検討していくこと, ⑤年々増加する教員の負担を軽減する検討を行うこと, を今年度の活動の方針とする。活動計画としては, 学科会議において, および, 年度末に開催予定である学科 FD 企画において, 調査等で得られたデータに基づきながら①~⑤の現状把握および改善策について学科教員で検討を行っていく。

日本文化学科では, 例年卒業生に対して行っているアンケート調査の回答を基に, カリキュラムのより一層の充実を目指し, 継続して話し合っていく。学科会議に限らず, 学生に関する情報交換は密に実施されているところだが, 学内の諸機関との連携も十分に行いたい。2023 年度の学科 FD 企画では, 日本語教員の国家資格化をテーマとしたが, 日本語教員養成プログラムの実施に際して情報提供を積極的に行い, 外部機関との連携も文化庁の拠点事業と絡めて積極的に進めていきたい。さらに, 学科の自己点検・評価(テーマ「研究プロジェクトの評価について」)では, これ

まで課題となっていた学科内での共通認識を得るために議論が進められた。学生の学びを主体的にとらえ、大学生活を円滑に進められるようサポートをする体制を整えた腕、年度末に行う学科FDでは、これらの取り組みを踏まえて検討して開催したいと考える。